

自動操舵システムの活用

○自動操舵システムに期待される効果

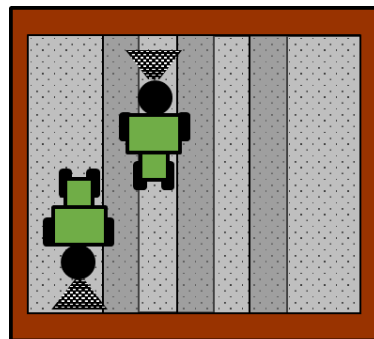
- ①作業時間の短縮 ②作業精度の向上 ③作業負荷の軽減が期待されます。
- 作業精度向上により肥料農薬をムラなく施用することが可能となります。
 - ・持続可能な環境調和型農業への貢献：燃料の使用料削減、肥料・農薬の施用ムラの低減
 - ・生産者に与える影響：作業時間の短縮、作業負荷の低減、肥料農薬コストの低減

効果 ①作業時間の短縮 ②作業精度の向上 ③作業負荷の低減

解説

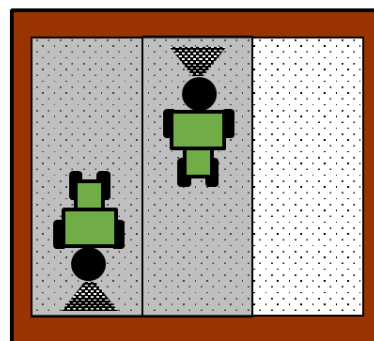
活用による肥料施用への影響

1. 作業時間の短縮：走行回数の削減
 - * 掛け合わせ幅が20cmと0cmの違い
 - 100m×30m圃場
 - 20cm掛け合わせ幅で17回走行
 - 0cm掛け合わせ幅で15回走行



自動操舵なし 作業重複増加

2. 作業精度の向上
 - 重複減少による作業ムラ軽減
 - 重複散布減少で肥料代を削減



自動操舵あり 作業重複減少

3. 作業負荷の軽減
 - ハンドル操作、前方注視時間の軽減
 - 後方作業の確認が可能

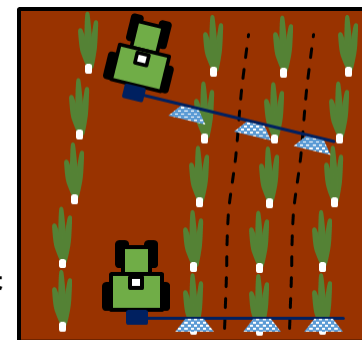
活用による農薬散布への影響

自動操舵システムの活用
= 直線で均一な幅の畝を作成

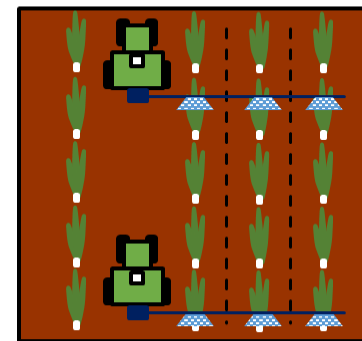
直線で均一な幅の畝を作成した効果

1. 作業精度
 - 散布ムラが軽減
 - 畝間に入って操作する場合も生産物を傷めるリスクの軽減

2. 作業負荷
 - 防除機の操作が軽減



畝が曲がると散布ムラ増



直線の畝だと散布ムラ減